

SAMPLE

特集レポート No. 045

ITサービス企業の新規事業展開

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 情報機器の保守運用ニーズは、IT化の進展とアウトソーシングニーズの高まりにより拡大している。一方で、クラウドコンピューティングが普及し情報機器自体を保有しない動きも拡大しており、ITサービス企業にとっては既存事業内での成長に限界が見えてきた
- そんな中、参入各社は新しい領域へと事業を展開すべく、手を打ち始めている。医療機器やドローンなど今後成長が見込まれる領域での運用保守ニーズを喚起することで成長を目指す動きが加速している
- 本レポートでは、ITサービス企業の新規事業の展開状況について事例を紹介することで、ITサービス業界の今後のトレンドを捉える一助としたい

本資料の流れ



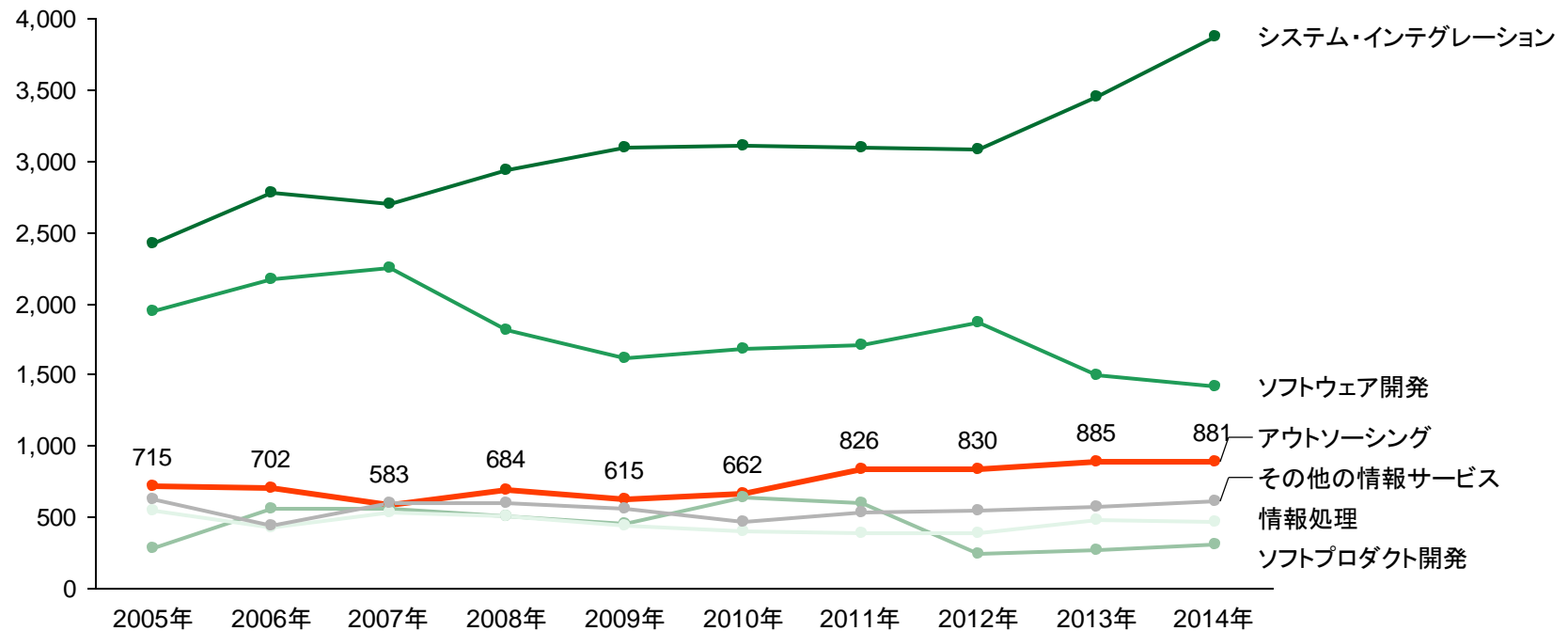
- I. ITサービス業の現在の立ち位置
- II. 新規事業への展開事例

ITサービスの市場規模推移

- 情報システムの管理運用アウトソーシングサービスを中心にITサービスの事業規模は徐々に拡大している
 - 企業の情報化の進展や非コア業務のアウトソーシングのニーズの高まりが背景

情報サービス産業協会の会員売上高推移

単位：十億円

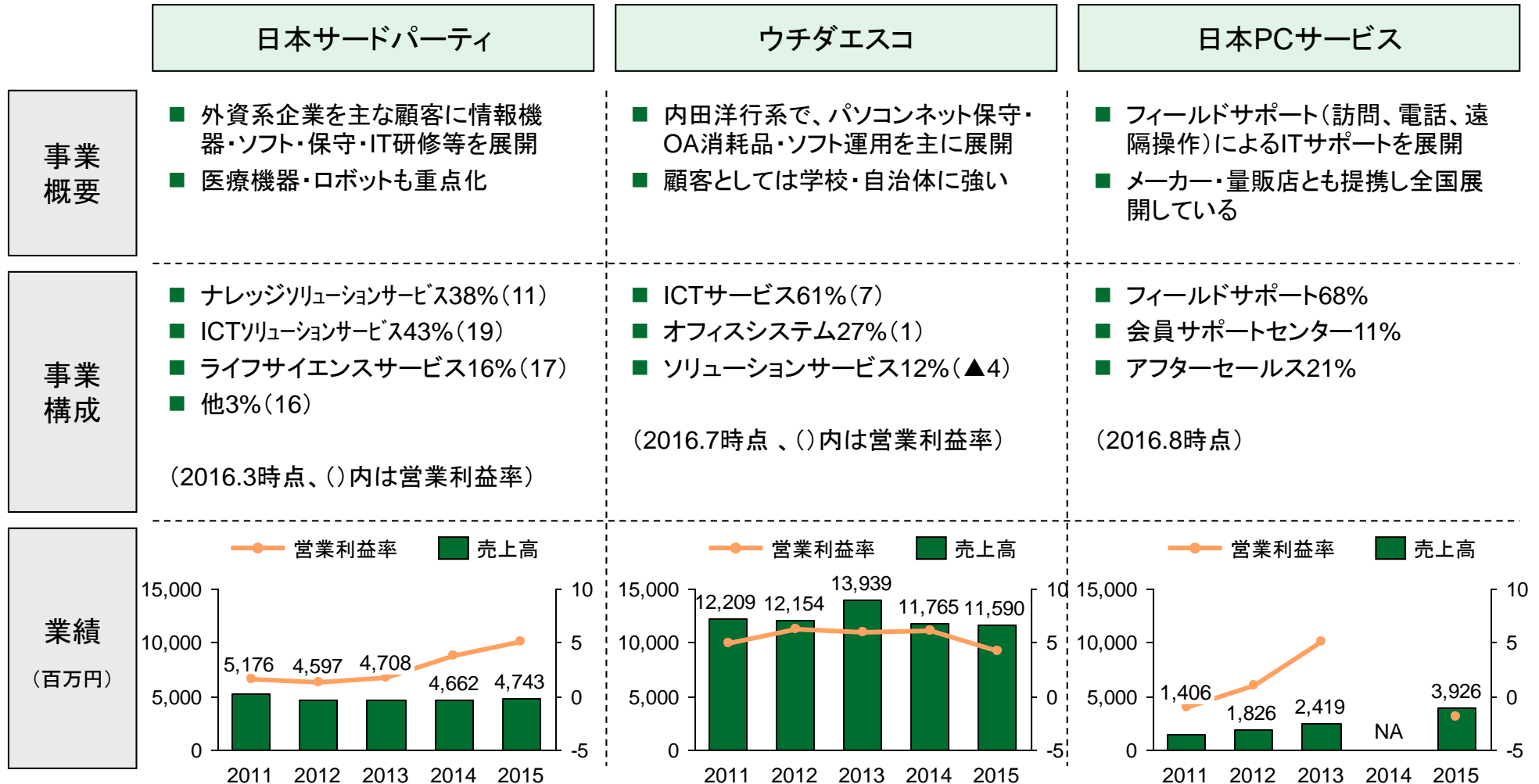


- 注：「システム・インテグレーション」：システム構築を一括して提供するサービス。システム構築用のハードウェア、構築に関わる企画・コンサルティング・要求定義を含む
「ソフトウェア開発」：特定ユーザー向けの「オーダーメイド型」のプログラム作成やソフトウェア保守。組み込みソフトを含む
「アウトソーシング」：情報システム（ホスト系、CSS系含む）の管理運用サービスでASP/SaaSやHaaS・IaaS等も含む。コールセンターや管理部門などの業務を請負うサービスも含む
「ソフトプロダクト開発」：不特定ユーザー向けの「レディメイド型」「イージーオーダー型」のプログラム作成や仕入れ販売。輸入ソフトのメンテナンス販売を含む
「情報処理」：オンライン/オフラインを問わず、いわゆる「受託計算サービス」
「その他の情報サービス」：オペレーター派遣、データ入力、データベースサービス、調査・コンサルティング、IT教育・研修、インターネット接続サービス、VAN、通信回線提供等

出所：一般社団法人 情報サービス産業協会「基本統計調査報告書」

ITサービス業界に参入する上場各社のビジネスの概況と業績推移

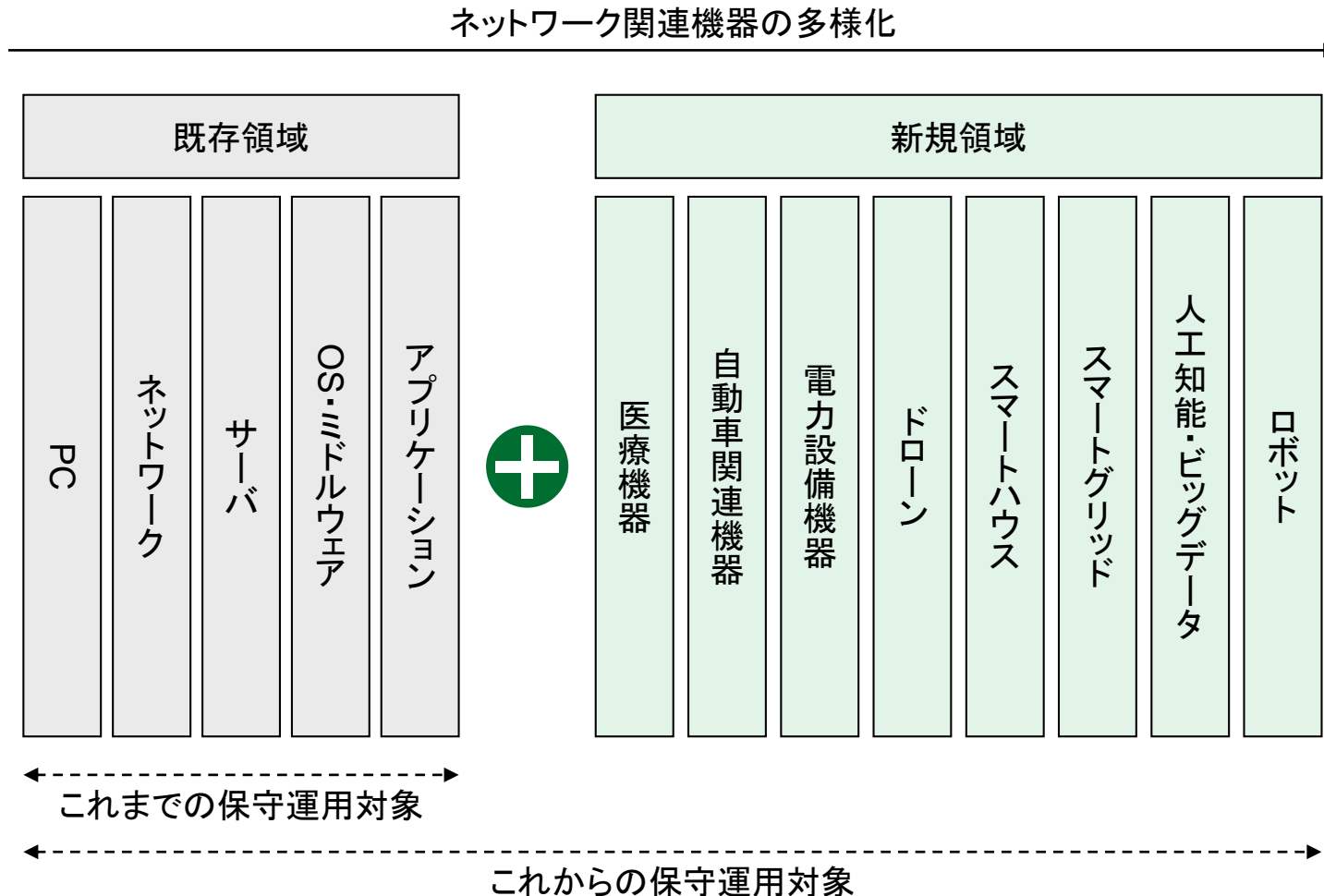
- 法人向けに事業を展開する日本サードパーティ、ウチダエスコは売上が伸び悩んでいる
 - 個人が最終受益者である日本PCサービスは、デジタル化にともなう家庭のサポートニーズの拡大により事業拡大



出所: 各社IR資料

業界で起きている新しい動き

- これまでの保守運用対象であったPC・ネットワーク・サーバなどから、今後成長が期待される医療分野や電力・ロボットなどの保守運用へとサービスの対象を広げてきている



SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

